

3. 政策評価のこれから

総務省は、これまでの取組の成果や、この制度をより良くするための新たな取組等を国民の皆様にも周知するとともに、皆様とともに制度の役割を考えます。これにより、政策評価制度の今後のより一層の機能発揮を目指します。



重要政策に関する 評価の徹底

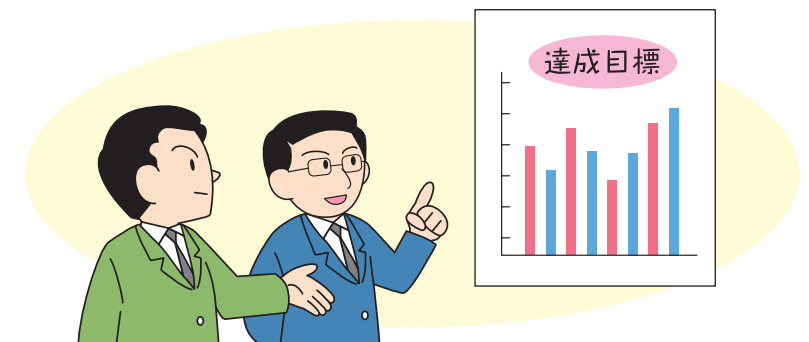
- ・ 内閣の重要政策に関する評価を徹底します。
- ・ 政策評価の重要対象分野の選定・評価等に関して、経済財政諮問会議と総務省・各府省の連携を強化します。
- ・ 国民の視点に立ち、必要性の高いテーマを評価します。

政策評価の重要対象分野の選定・評価



評価の質の向上

- ・ 評価結果を政策の企画立案や予算要求に一層活用します。
- ・ 政策の達成目標を明示し、客観的に評価が行えるようにします。



国民の皆様への 説明責任の徹底

- ・ より分かりやすい評価書を作成します。
- ・ 総務省ホームページ等を通じて、国民の皆様への広報を積極的に展開します。



平成18年度政策評価フォーラム(仙台会場)

よく説明していきます



総務省による各府省の政策評価のチェック

需要予測に疑問 忠別ダム(水道水源開発施設整備事業)の再評価

平成17年 厚生労働省

【厚生労働省による評価結果】

人口が平成65年までに6.6%(2万3,800人)増加すると推計し、安定的な水量を確保するため「継続」と評価

【総務省の指摘】

再評価の人口推計は、最近の減少傾向にある人口動向や公的機関の減少予測と乖離しており過大ではないか。

【厚生労働省の回答】

人口推計に適切でない部分があるため、再推計を行い改めて評価を行う

【やり直し後の評価(平成18年度)の概要】

- 人口推計の見直し：平成16年度評価時38万3,768人(平成65年度) ⇒平成18年度やり直し後31万3,009人(平成41年度)
- 関連施設の規模見直し：約42.5億円の事業費削減(見込み)



総務省による複数府省にわたる政策の評価の実施例

1 少年の非行対策に関する政策評価

平成18年度

【評価の観点】

関係行政機関による少年の非行対策について、総体としてどの程度効果を上げているかなどの総合的な観点から評価を行った。

【総務省の意見】

少年の居場所の確保や学習・就労支援など、地域社会と一体となった取組の推進等の改善方策について、関係府省に意見を通知した。



2 リサイクル対策に関する政策評価

平成19年度

【評価の観点】

循環型社会形成推進政策について、関係行政機関による各種施策がどのような効果を上げているかなどの総合的な観点から評価を行った。

【総務省の意見】

循環型社会形成推進基本計画における評価指標の見直し、循環資源の効率的な分別収集・再生利用の確保などについて、全府省に意見を通知した。

